

非破壊試験技術講習会（レベル1，2）

開催案内（2011年10月～2012年1月）

—JIS Z 2305 認証試験で要求される訓練時間に対応—

主催 社団法人 日本非破壊検査協会

The Japanese Society for Non-Destructive Inspection

<http://www.jsndi.jp/>

当協会では、平成15年春期からJIS Z 2305「非破壊試験—技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施しております。JIS Z 2305では受験申請資格として各NDT方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録（レベル1、2は必須）が必要となります。

本講習会はJIS Z 2305で必要とされる訓練時間の**全部又は一部**を満足する設定になっております。この要求される「訓練時間」に対して、今回実施される講習会の訓練時間の対比については、本開催案内の(P.2)の**2. 本訓練コースとJIS Z 2305 認証試験で要求される「訓練時間」の対比**を確認して下さい。

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行（郵送）致します。

目次

1. JIS Z 2305 認証試験の受験申請資格

1) レベル1及びレベル2

各NDT方法について、表1-1又は表1-2の訓練時間を満足することが必要であり、レベル1の資格を有していない方がレベル2の受験申請を行う際には当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要となります。（受験申請時から過去5年以内のもの）。

2) レベル3

関連訓練コースの履修、関連NDTの学術講演会、セミナーに出席又は発表による貢献、あるいはNDT関連の書籍の執筆、又はそれらによる学習の証明等が必要となります（受験申請時から過去5年以内のもの）。

1) JIS Z 2305 認証試験の受験資格	1	7) 講習会会場案内	14
2) 本講習会とJIS Z 2305認証試験で要求される訓練時間の対比	2	8) 講習会使用書籍一覧	15～16
3) 講習会申込方法、申込注意事項、会員価格等	3	9) 書籍申込要領	17
4) WEBシステムについて	4	10) 講習会受講者専用書籍注文書	18
5) 各種講習会開催要領	5～11	11) 講習会申込書 記載注意事項	19
6) 各支部講習会予定	12～13	12) 非破壊試験技術講習会 申込書(記入例)	20
		13) 非破壊試験技術講習会 申込書	21

表1-1 訓練時間

NDT方法 (略称)	レベル1 (時間)	レベル2 (時間)	
		レベル1資格所有者	レベル1資格非所有者
放射線透過試験 (RT)	40	80	120
超音波探傷試験 (UT)	40	80	120
磁粉探傷試験 (MT)	16	24	40
浸透探傷試験 (PT)	16	24	40
渦流探傷試験 (ET)	40	40	80
ひずみ測定 (SM)	16	24	40

表1-2 訓練時間 (限定NDT方法)

限定NDT方法 (略称)	限定レベル1 (時間)	限定レベル2 (時間)	
		限定レベル1資格所有者	限定レベル1資格非所有者
超音波厚さ測定 (UM)	16	—	—
極間法磁粉探傷検査 (MY)	8	16	24
通電法磁粉探傷検査 (ME)	8	—	—
コイル法磁粉探傷検査 (MC)	8	—	—
溶剤除去性浸透探傷検査 (PD)	8	16	24
水洗性浸透探傷検査 (PW)	8	—	—

2. 本訓練コースと JIS Z 2305 認証試験で要求される「訓練時間」の対比

各NDT方法の要求される「訓練時間」に対して、今回実施される訓練コースの訓練時間の対比を表2に示します。

レベル1の資格を所有しないでレベル2を直接受験する場合には、当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要です。(1. JIS Z 2305 認証試験の受験申請資格の表1-1、1-2 参照)

表2 JIS Z 2305 が要求する訓練時間と本講習会訓練コースとの対比

NDT方法 (略称)	レベル	JIS Z 2305 要求訓練時間	訓練コース	訓練時間	追加が必要な訓練時間
放射線透過試験 (RT)	1	40	レベル1	40	—
	2	80 ^注	レベル2	48	32
	3	—	レベル3	32	—
超音波探傷試験 (UT)	1	40	レベル1	40	—
	2	80 ^注	レベル2	40	40
	3	—	レベル3	32	—
磁粉探傷試験 (MT)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	—	レベル3	32	—
浸透探傷試験 (PT)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	—	レベル3	32	—
渦流探傷試験 (ET)	1	40	レベル1	32	8
	2	40 ^注	レベル2	32	8
	3	—	レベル3	32	—
ひずみ測定 (SM)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	—	レベル3	32	—

超音波厚さ測定 (UM)	1	16	レベル1	16	—
極間法磁粉探傷検査 (MY)	1	8	レベル1	16	—
	2	16 ^注	レベル2	24	—
通電法磁粉探傷検査 (ME)	1	8	レベル1	16	—
コイル法磁粉探傷検査 (MC)	1	8	レベル1	16	—
溶剤除去性浸透探傷検査 (PD)	1	8	レベル1	16	—
	2	16 ^注	レベル2	24	—
水洗性浸透探傷検査 (PW)	1	8	レベル1	16	—

注：要求訓練時間は、レベル1資格所有者の場合である。

JIS Z 2305 非破壊試験技術者資格試験 受験申請について

新規の受験申請につきましては、各自で申請書をご購入いただき、受験申請受付期間内に申請を行う必要があります。春期試験日程は1月に、秋期試験日程は7月に発表予定です。日程概要は下記となりますので、ご参考として下さい。

なお、受験申請書の購入方法および最新の試験関係の情報は当協会のホームページで、確認することができますので一度ご覧下さい (<http://www.jsndi.jp>)。

(予定)

春期試験

秋期試験

- | | | |
|--------------------|-------------|------------|
| 1. 試験日程および受験申請書の販売 | 1月上旬～ 1月下旬、 | 7月上旬～ 7月下旬 |
| 2. 受験申請受付 | 1月下旬～ 2月上旬、 | 7月下旬～ 8月上旬 |
| 3. 一次試験 | 3月下旬、 | 9月下旬 |

3. 講習会申込方法

1) 申込受付

所定の申込書に必要事項を記入の上、郵送にて下記申込先迄までお申込み頂くか、WEBシステム上でお申込み下さい。電話・FAX等での受付及び予約は、一切いたしておりません。受講申込み受付は、申込書の到着をもって正式受付とします。

申込先：〒101-0026 東京都千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 4階

社団法人 日本非破壊検査協会 業務課講習会係 (TEL 03-5821-5103)

***平成17年4月より、当協会ではインターネット（WEBシステム）で、簡単に講習会や書籍のお申し込みが出来ます。詳細につきましては、次ページまたは、<http://www.jsndi.jp>のWEBシステムをご参照下さい。**

2) 締切

申込の締切は各講習会開催の2週間前迄です。ただし、定員に達し次第締切ます。（定員に余裕がある場合は、その限りではありません。）

3) 受講票の発送

申込書受領後、各種講習会開催日の2週間前に受講票・受講料振込用紙を発送します。

講習会開催日の1週間前になっても受講票が届かない場合は、上記の申込先へお問合せ下さい。

4) 受講料

P5～P11の各講習会開催要領をご参照下さい。受講料振込用紙が到着次第、指定期日までに送金をお願い致します。

講習会の出欠にかかわらずに振込を完了されませんと、以後講習会への申込はできなくなりますので、ご注意ください。

注）受講料は正式受付をもって全額納入の義務を生じます。受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できません。受講申込の際には、充分にご注意下さい。

※ 郵便振替の領収書は発行致しません。また、お振込後の受講料は返金できませんので御了承下さい。なお、請求書は受講申込書単位での請求になりますので、複数の申込の場合でも一括での振込はご遠慮下さい。必ず郵便振替でお願いします。

5) 講習会使用書籍

講習会で使用する書籍（使用・参考）の注文は、JSNDI講習会受講者専用書籍注文書により事前に購入の上、講習会に臨んで下さい。（本講習会受講の方には、協会発行書籍を会員価格でご提供させていただいております。）

書籍購入を希望される方は、書籍注文書を講習会申込書と同封のうえ申込先までご送付下さい。

講習会当日の書籍販売は致しません。年版を確認の上、必ず講習会当日までに、ご購入下さい。

◎申込に際して、必要な送付書類

・講習会受講申込書（必ず各コース1人1枚を用意して下さい。）

・書籍注文書（書籍購入希望者）

4. JIS Z 2305 訓練実施記録の発送

受験申請の際に、レベル1、2には「訓練実施記録」が必要となります。本講習会では、「訓練実施記録」を受講終了後に発行（郵送）致します。「訓練実施記録」は、受験申請時にはコピーに署名・捺印し添付することになっておりますので、原本は各自で大切に保管して下さい。再発行は、有料（3,150円税込）となりますので、紛失しないようご注意ください。

5. 申込注意事項

1) 訓練コース：技術部門ごとにレベル1、2にコースが分かれ、必要な知識・技量に応じた講義・実習の内容となっておりますので、コースの選定には十分ご留意下さい。

2) 受講対象者：レベル2技術者コース講習会は、**レベル1技術者の技量のある方**を対象に企画しております。詳細はP5～P11の講義内容及び時間割を参照下さい。

6. 受講料の会員価格

当協会の会員の皆様にはサービスの一環として、受講料の会員価格を設けさせていただいております。**会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております。（会員証に氏名が記載されている本人。）**

「非破壊検査技術者技量認定証明書」又は「非破壊試験技術者資格証明書」に記載されている個人登録番号又は個人コードではございませんのでご注意ください。

7. キャリア形成促進助成金制度について

キャリア形成促進助成金制度では、大企業、中小企業ごとに、事業外の教育訓練施設へ派遣した場合、助成金の給付を受ける事ができます。詳細は、各都道府県の雇用・能力開発機構の都道府県センターへお問合せ下さい。

TEL0570-001154（全国どこでも最寄の都道府県センターに自動転送されます）。

手続き期間、給付率等は、<http://www.ehdo.go.jp>をご参照下さい。

個人情報について

講習会申込書に記入されました個人情報は、講習会関係書類等の作成に使用し個人情報を順守し取り扱います。

「社団法人日本非破壊検査協会WEBシステム」について

当会では、平成17年4月11日（月）より標記システムの運用を開始いたしました。このシステムは会員及び利用者の方々のサービスの向上を目的とし、以下の機能を24時間ご提供いたします。

「日本非破壊検査協会WEBシステム」をご利用いただくには、事前に利用者登録が必要です。この利用者登録は初回のみで、2回目以降はご登録されたID、パスワード、会員番号の入力のみでご利用できます（日本非破壊検査協会の会員の方は会員機能を有効にしてログインしていただければ、頒布品（書籍、試験片）割引、受講料割引、及び文献閲覧等の会員特典を受けることができます）。

利用者登録は当会ホームページの「日本非破壊検査協会WEBシステム」のページからご登録をお願いいたします（<http://www.jsndi.jp/>）。

<WEBシステムでご利用できる機能>

1. メールマガジン

当会からの最新情報を電子メールにて発信いたします。メールマガジンのカテゴリは以下の4種類で、ご希望のメールマガジンを購読することができます（無料）。

- (1) 学術活動メールマガジン
- (2) 教育活動・講習会メールマガジン
- (3) 資格試験メールマガジン
- (4) 書籍・試験片・頒布品メールマガジン

* 利用者登録の際に電子メールアドレスが必要です。利用者登録は個人の方でも、企業の事務担当者の方でもご登録可能です。ただし、1利用者に対して1メールアドレスが必要です。なお、携帯メールのご登録はできませんので、ご了承ください。

2. 電子申請

電子申請はWEB上から各種お申し込みを行うことができます。お申し込み可能な申請は下記の4種類です。

- (1) 会員登録申込・住所変更（個人会員の方）
日本非破壊検査協会の各種会員のお申し込みができます（個人会員・団体会員・学生会員・賛助会員・支部賛助会員）。
- (2) 学術系申込
学術系の各種イベント等へのお申し込みができます。
- (3) 講習会申込
講習会へのお申し込みができます。講習会の開催一覧をご希望の条件で検索することが可能です。また、講習会にお申し込みいただき、同時に関連書籍をご購入される場合には割引価格が適用されます。
- (4) 書籍・ビデオ・試験片等の申込
書籍・ビデオ・試験片等のお申し込みができます。また、会員の方は会員価格にてご購入することができます。

3. 公開文献

当会の会員の方々にご提供する文献等をアップいたします。「日本非破壊検査協会WEBシステム」にログインされる際に会員番号を入力していただければ、公開文献を参照することができます。

* 公開文献は準備が整い次第、順次掲載いたします。公開文献として、日本非破壊検査協会規格（NDIS）、オープンシンポジウム論文集、春秋講演大会論文集等の掲載を予定しています。

8. 各種講習会開催要領

* 講義内容は都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

《RT部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
放射線透過試験レベル1 (講義・実習5日間コース)	RT10	東京	32名	1月14日(土)～18日(水)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～17:45	(講義) 非破壊試験技術者の役割 放射線透過試験の基礎(原理)			会 員 60,100 円 非会員 66,780 円	40時間
《第2日目》 09:00～14:00 14:00～17:45	(講義) 放射線透過試験の基礎(原理) 放射線管理				
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) γ線の取扱(法律、構造) γ線(イリジウム模擬線源)撮影要領(管円周溶接部)				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 撮影、観察				
《第5日目》 09:00～11:00 11:00～17:45	(実習) 欠陥の発生と特徴 透過写真のきずの像の分類及び実習				

備考：関数電卓、分類用ゲージ(JIS Z 3104、3105、G0581)を持参して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
放射線透過試験レベル2 (講義・実習6日間コース)	RT20	東京	32名	講義 1月19日(木)～21日(土) 実習 22日(日)～24日(火)	
		大阪	32名	講義 1月 5日(木)～ 7日(土) 実習 8日(日)～10日(火)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～14:45 14:45～17:45	(講義) 非破壊試験技術者の役割 放射線の物理的基礎 感光材料と露出線図			会 員 74,840 円 非会員 83,160 円	48時間
《第2日目》 09:00～14:45 14:45～15:45 15:45～17:45	(講義) 試験条件と透過写真の像質 放射線透過試験の国内規格 肉厚差のある試験体の撮影				
《第3日目》 09:00～11:00 11:00～13:45 13:45～15:45 15:45～17:45	(講義) 管の円周溶接継手及びT溶接継手の撮影 NDT手順書、NDT指示書 安全管理(RI) きずの種類と発生原因				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 特性曲線、散乱比、露出線図				
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) γ線の取扱・露出量の算出 γ線(イリジウム模擬線源)撮影要領(管円周溶接部)				
《第6日目》 09:00～17:45	(実習) 管円周溶接部の撮影、きずの像の分類				

備考：関数電卓、分類用ゲージ(JIS Z 3104、3105、G0581)を持参して下さい。

《UT部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日		
超音波探傷試験レベル1 (実習・講義5日間コース)	UT10	東京 *(探傷器 R)	96名 (各組32名)	実習 第1組	1月13日(金)～15日(日)	
				実習 第2組	10日(火)～12日(木)	
				実習 予備日	7日(土)～9日(月)	
				講義	1月16日(月)～17日(火)	
		大阪 *(探傷器 G)	48名 (各組24名)	実習 第1組	10月17日(月)～19日(水)	
				実習 第2組	14日(金)～16日(日)	
				講義	10月20日(木)～21日(金)	
訓練内容				受講料(消費税込み)		訓練時間
《第1日目》 09:00～17:45	(実習)	基礎、装置の取扱、垂直探傷		会 員 66,528 円 非会員 73,920 円		40時間
《第2日目》 09:00～17:45	(実習)	垂直探傷、斜角探傷				
《第3日目》 09:00～17:45	(実習)	斜角探傷、厚さ測定				
《第4日目》 09:00～09:30 09:30～12:00 12:45～13:45 13:45～15:15 15:15～17:45	(講義)	非破壊試験技術者の役割と安全衛生 探傷を始める前に 探傷装置・探傷装置の性能と点検・試験片 垂直探傷 斜角探傷				
《第5日目》 09:00～09:30 09:30～10:00 10:00～10:30 10:30～11:00 11:00～12:00 12:45～14:30 14:30～17:45	(講義)	その他の探傷・自動探傷 NDT指示書 測定装置(超音波厚さ測定I) 測定準備及び測定(超音波厚さ測定I) 超音波厚さ測定の必要性(超音波厚さ測定I) 必要JIS規格の紹介・解説 問題演習(UT-1とUM-1を解説)				

備考：関数電卓を持参して下さい。

講習会名	略称	地区	定員	期日		
超音波厚さ測定レベル1 (講義・実習2日間コース)	UM10	東京	32名	講義	1月27日(金)	
				実習	28日(土)	
		大阪	48名	講義	10月12日(水)	
				実習	10月13日(木)	
訓練内容				受講料(消費税込み)		訓練時間
《第1日目》 09:00～10:00 10:00～11:15 11:15～14:00 14:00～16:00 16:00～17:45	(講義)	超音波の基礎 測定装置 測定準備及び測定 超音波厚さ測定応用例 レベル1の役割と厚さ測定指示書		会 員 24,885 円 非会員 27,720 円		16時間
《第2日目》 09:00～12:10 12:55～13:35 13:35～15:15 15:15～16:15 16:15～17:45	(実習)	厚さ計の取扱い、校正 鋼以外の材料、粗面と接触媒質/隔離面 2回測定法、多点連続法 連続測定法、ラミネーション鋼板、精密測定法 管材の厚さ測定、エルボ減厚部の厚さ測定 超音波探傷器による厚さ測定、塗膜鋼板の厚さ測定、 質疑応答				

備考：関数電卓を持参して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
注) 超音波探傷試験レベル2 (講義・実習5日間コース)	UT20	東京 *(探傷器 R)	96名 (各組32名)	講義 1月18日(水)～20日(金) 実習 第1組 21日(土)～22日(日) 実習 第2組 23日(月)～24日(火) 実習 予備日 25日(水)～26日(木)	
		大阪 *(探傷器 G)	48名 (各組24名)	講義 10月22日(土)～24日(月) 実習 第1組 25日(火)～26日(水) 実習 予備日 27日(木)～28日(金)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) 超音波探傷試験の基礎 超音波探傷試験装置			会 員 61,950 円 非会員 68,880 円	40時間
《第2日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) 超音波の基本と応用 探傷の実際				
《第3日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) きずの評価 各種の管理 超音波探傷試験関連規格 NDT手順書、NDT指示書 問題演習				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 垂直探傷試験				
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) 斜角探傷試験				

備考：関数電卓を持参して下さい。

注) 超音波探傷試験レベル2講習会受講希望者へ

超音波探傷試験レベル2講習会を受講される方は、超音波探傷試験レベル1(1種)の資格を所有された方か、超音波探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。

やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させて頂きますようお願い致します。

レベル2の講習会受講に際し、最低限必要な操作項目を以下に示します。

* レベル2コース受講に必要な操作項目

〔垂直探傷〕

- ① 測定範囲の調整 ② 感度の調整 ③ きずの位置測定

〔斜角探傷〕

- ① 入射点の測定 ② 測定範囲の調整 ③ 屈折角の測定 ④ 反射源の位置測定
⑤ エコー高さ区分線の作成

超音波技術講習会受講者についての注意事項

長い爪での受講注意：超音波探傷器操作上、パットが損傷する恐れがありますので、長い爪での受講はご遠慮下さい。

*探傷器タイプ Rタイプ、Gタイプの詳細はHPを参照して下さい。

《MT部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
磁粉探傷試験レベル1 (講義・実習2日間コース)	MT10	東京	72名 (各組36名)	講義 1月21日(土) 実習 第1組 22日(日) 実習 予備日 23日(月)	
		大阪	48名	講義 1月12日(木) 実習 13日(金)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00~12:00	(講義)	磁粉探傷試験に必要な基礎知識 磁粉探傷試験で対象となるきずの種類 試験に必要な磁化機器と材料 A型及びC型標準試験片		会 員 24,780 円 非会員 27,750 円	16時間
12:45~17:45	(実習)	各種磁粉探傷試験 各種磁化方法及び問題演習			
《第2日目》 09:00~17:45	(実習)	コイル式・通電式磁粉探傷装置、極間式探傷器			

注) 限定NDT方法のMC・ME・MYレベル1を受験される方は、このコースを受講して下さい。

備考：実習には、作業衣を用意して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
磁粉探傷試験レベル2 (講義・実習3日間コース)	MT20	東京	48名	講義 1月24日(火)~25日(水) 実習 26日(木)	
		大阪	48名	講義 1月14日(土)~15日(日) 実習 16日(月)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00~13:00	(講義)	磁粉探傷試験の基礎		会 員 35,070 円 非会員 39,060 円	24時間
13:45~14:45	(講義)	磁粉探傷試験装置と試験材料			
14:45~17:45	(講義)	磁粉探傷試験の実際			
《第2日目》 09:00~11:00	(講義)	材料・溶接及び欠陥検出に関する基礎知識		会 員 35,070 円 非会員 39,060 円	24時間
11:00~12:00	(講義)	NDT指示書			
12:45~14:45	(講義)	磁粉探傷試験法の管理と安全衛生			
14:45~17:45	(講義)	問題演習		会 員 35,070 円 非会員 39,060 円	24時間
《第3日目》 09:00~17:45	(実習)	極間式探傷器、定置式磁化装置			

備考：実習日には、作業衣をご用意して下さい。

注) 限定NDT方法の極間法レベル2を受験される方は、上記磁粉探傷試験レベル2を受講して下さい。

注) 磁粉探傷試験レベル2講習会受講希望者へ

磁粉探傷試験レベル2講習会を受講される方は、磁粉探傷試験レベル1(1種)の資格を所有された方か、磁粉探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。

やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、受講前までに下記の基本操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことを十分に確認の上、講習会に参加させて頂きますようお願い致します。

*レベル2コース受講に必要な基本操作項目

〔極間法による磁粉探傷試験〕

- ①検査液の適用方法(オイラー使用) ②A形標準試験片の取扱い
③探傷有効範囲の測定 ④溶接試験片などによる探傷操作 ⑤きず磁粉模様の判別

《PT部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
浸透探傷試験レベル1 (講義・実習2日間コース)	PT10	東京	180名 (各組36名)	講義 1月 5日 (木) 実習 第1組 6日 (金) 実習 第2組 7日 (土) 実習 第3組 8日 (日) 実習 第4組 9日 (月) 実習 予備日 10日 (火)	
		大阪	180名 (各組36名)	講義 1月19日 (木) 実習 第1組 20日 (金) 実習 第2組 21日 (土) 実習 第3組 22日 (日) 実習 第4組 23日 (月) 実習 予備日 24日 (火)	
訓練内容				受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00~11:00 11:00~13:00 13:45~15:45 15:45~17:45	(講義) 浸透探傷試験の基礎 溶剤除去性浸透探傷試験 水洗性浸透探傷試験 問題演習			会 員 24,780 円 非会員 27,750 円	16時間
《第2日目》 09:00~17:45	(実習) 水洗性浸透探傷試験、溶剤除去性浸透探傷試験				

注) 限定NDT方法のPW・PDレベル1を受験される方は、このコースを受講して下さい。

備考：実習には、作業衣を用意して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
浸透探傷試験レベル2 (講義・実習3日間コース)	PT20	東京	180名 (各組45名)	講義 1月11日 (水) ~12日 (木) 実習 第1組 13日 (金) 実習 第2組 14日 (土) 実習 第3組 15日 (日) 実習 予備日 16日 (月)	
		大阪	180名 (各組45名)	講義 1月25日 (水) ~26日 (木) 実習 第1組 27日 (金) 実習 第2組 28日 (土) 実習 第3組 29日 (日) 実習 予備日 30日 (月)	
訓練内容				受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00~10:00 10:00~12:15 13:00~17:45	(講義) 浸透探傷試験の基礎 (I) 浸透探傷試験の基礎 (II) 探傷技術			会 員 42,000 円 非会員 45,660 円	24時間
《第2日目》 09:00~11:00 11:00~12:00 12:45~14:45 14:45~17:45	(講義) 材料・溶接及び欠陥検出に関する基礎知識 NDT指示書 管理、安全衛生、各種文書の定義と作成要領 問題演習				
《第3日目》 09:00~17:45	(実習) 染色浸透探傷試験及び管理、現像法と欠陥指示模様 水洗性・後乳化性蛍光浸透探傷試験				

備考：実習日には、作業衣をご用意して下さい。

注) 限定NDT方法の溶剤除去性レベル2を受験される方は、上記浸透探傷試験レベル2を受講して下さい。

《ET部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
渦流探傷試験レベル1 (講義・実習4日間コース)	ET10	東京	24名	1月 5日(木)～8日(日)	
		大阪	24名	1月19日(木)～22日(日)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～10:00 10:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の概要 渦電流探傷試験の基礎Ⅰ 渦電流探傷試験の基礎Ⅱ			会 員 45,360 円 非会員 50,400 円	3 2時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～14:45 14:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の基礎Ⅲ 試験コイル 渦電流探傷装置				
《第3日目》 09:00～09:30 09:30～12:00 12:45～14:45 14:45～15:45 15:45～17:45	(講義) 対比試験片 渦流探傷試験の実際Ⅰ 渦流探傷試験の実際Ⅱ 電磁誘導を利用したその他の試験 文章類・問題演習				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル				

備考：関数電卓を持参して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
渦流探傷試験レベル2 (講義・実習4日間コース)	ET20	東京	24名	1月 9日(月)～12日(木)	
		大阪	24名	1月26日(木)～29日(日)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～14:15 14:15～17:45	(講義) 金属の電磁的性質 電気と磁気の基礎 渦流探傷試験の基礎、コイルインピーダンス			会 員 47,628 円 非会員 52,920 円	3 2時間
《第2日目》 09:00～13:00 13:45～17:45	(講義) 試験コイルと渦流探傷試験装置 渦流探傷試験方法(内挿、貫通、上置)				
《第3日目》 09:00～13:00 13:45～17:45	(講義) その他の電磁誘導試験、規格および文書類 (NDT指示書含む) (実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル				

備考：関数電卓を持参して下さい。

《SM部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
ひずみ測定レベル1 (講義・実習2日間コース)	SM10	東京	30名	1月26日(木)～27日(金)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:30 12:15～14:45 14:45～16:45 16:45～17:45	(講義) ひずみ測定の目的とひずみゲージ ひずみ測定回路の基礎と機器 ひずみ測定実施上の注意・測定結果の整理 NDT手順書・NDT指示書			会 員 24,885 円 非会員 27,720 円	16時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 問題演習 (実習) ひずみゲージの接着				

備考：関数電卓を持参して下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
ひずみ測定レベル2 (講義・実習3日間コース)	SM20	東京	48名 (各組24名)	講義 1月28日(土)～29日(日) 実習 第1組 30日(月) 実習 予備日 31日(火)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～10:00 10:00～14:45 14:45～17:45	(講義) NDI技術者の役割ほか ひずみ測定の基礎 応力とひずみ			会 員 35,070 円 非会員 39,060 円	24時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～13:45 13:45～15:45 15:45～16:15 16:15～17:45	(講義) ひずみ測定機器 測定実施上の注意事項 トランスジューサー 各種の管理 NDT手順書、NDT指示書				
《第3日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	問題演習 (実習) ひずみゲージの接着、ロゼット解析				

備考：関数電卓を持参して下さい。

9. 各支部講習会予定 (*支部主催の講習会については、直接各支部へお問い合わせ下さい。)

東北支部

1. コース: 超音波探傷試験レベル1・2 学科
2. 日程: 9月10日・11日(土日)
3. 会場: 宮城県産業技術総合センター
4. 受講料: 会員:18,900円、非会員:22,050円
5. 問合せ先: 東北支部 TEL:022-279-7862 e-mail:info@jsndi-tohoku.jp

1. コース: 超音波探傷試験レベル1・2 実技
2. 日程: 10月20日～21日(L1・Rタイプ、L2・Gタイプ)
10月22日～23日(L1・Gタイプ、L2・Rタイプ)
3. 会場: 宮城県産業技術総合センター
4. 受講料: 会員:37,800円、非会員:40,950円
5. 問合せ先: 東北支部 TEL:022-279-7862 e-mail:info@jsndi-tohoku.jp

九州支部

1. コース:磁粉探傷試験レベル3(二次試験対策)
2. 日程 :9月24日(土)～25日(日)
3. 会場 :(社)九州機械工業振興会
4. 受講料:JSNDI 正会員・・・25,200円(消費税込み)
非会員・・・・・・・31,500円(消費税込み)
5. 定員:30名
6. 問合せ先:JSNDI 九州支部 TEL 093-861-3001、FAX 093-861-3007

1. コース:放射線透過試験レベル2(二次試験・実技対策)
2. 日程 :11月上旬予定
3. 会場 :(社)九州機械工業振興会
4. 受講料:JSNDI 正会員・・・21,000円(消費税込み)
非会員・・・・・・・27,300円(消費税込み)
5. 定員:10名
6. 問合せ先:JSNDI 九州支部 TEL 093-861-3001、FAX 093-861-3007

中部支部

問合せ先: JSNDI中部支部 TEL 052-653-5866 FAX 052-653-5689

浸透探傷レベル1 (PT1) (受験に必要な訓練時間→16時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
10/7(金)	学科	8時間	有	学実2日間で¥27,000	20名	ポリテクセンター中部
10/8(土)	実技	8時間	有			

浸透探傷レベル2 (PT2)(受験に必要な訓練時間→ レベル1有資格者の場合は24時間、無資格者の場合は40時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
10/7・8(金・土)	学科	16時間	有	学実3日間で¥37,000	40名	ポリテクセンター中部
10/9(日)又は10/16(日)	実技	8時間	有		各20名	
10/15・16日(土・日)	補講	16時間	有	2日間で¥27,000	20名	

実技講習会受講日について

学実3日間コースをご希望される方は10月16日に受講となります。

学実3日間コースと補講をご希望される方は10月9日に受講となります。

補講について 補講のみの受講受付は行っておりません。必ず学実3日間とあわせてお申込み願います。

磁粉探傷レベル1 (MT1)

(受験に必要な訓練時間→16時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
11/5(土)	学科	8時間	有	学実2日間で¥27,000	20名	ポリテクセンター中部
11/6(日)	実技	8時間	有			

磁粉探傷レベル2 (MT2)(受験に必要な訓練時間→レベル1有資格者の場合は24時間、無資格者の場合は40時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
10/21.22(金・土)	学科	16時間	有	学実3日間で¥37,000	30名	ポリテクセンター中部
10/23(日)	実技	8時間	有		20名	
11/5・6日(土・日)	補講	16時間	有	2日間で¥27,000	20名	

補講について 補講のみの受講受付は行っておりません。必ず学実3日間とあわせてお申込み願います。

極間法磁粉探傷検査レベル1 (MY1)

(受験に必要な訓練時間→8時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
11/5(土)	学・実	8時間	有	¥13,500	20名	ポリテクセンター中部

超音波探傷レベル1 (UT1)

(受験に必要な訓練時間→40時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
12/3.4(土・日)	学科	16時間	有	学実5日間で¥66,000 学科のみ¥22,000 実技のみ¥45,000	40名	ポリテクセンター中部
1回目 12/9.10.11(金～日)	実技	24時間	有		20名	ポリテクセンター中部
2回目 12/16.17.18(金～日)					20名	名古屋中小福祉会館

超音波探傷レベル2 (UT2)(受験に必要な訓練時間→レベル1有資格者の場合は80時間、無資格者の場合は120時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
1/13.14.15(金～日)	学科	24時間	有	学実6日間で¥77,000 学科のみ¥33,000 実技のみ¥45,000	40名	名古屋中小福祉会館
1回目 1/20.21.22(金～日)	実技	24時間	有		20名	
2回目 1/27.28.29(金～日)					20名	

超音波厚さ測定 (UM1)

(受験に必要な訓練時間→16時間)

月日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
11/29(火)	学科	8時間	有	学実2日間で¥26,000	20名	名古屋市工業研究所
11/30(水)	実技	8時間	有			

実技特訓

月日(曜)	科目	時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
11/26(土)	MT1	9時～17時	なし	¥25,000	20名	ポリテクセンター中部
11/27(日)	MT2	9時～17時	なし	¥25,000	15名	
10/27(水)	PT1	9時～17時	なし	¥25,000	20名	
10/28(金)又は10/29(土)	PT2	9時～17時	なし	¥25,000	各15名	
11/19(土)又は11/20(日)	UT1	9時～17時	なし	¥25,000	各20名	
11/12.13(土日)又は11/14.15(月火)	UT2	9時～17時	なし	¥45,000	各20名	

受講日について受講日は先着順となります。

学科特訓

月日(曜)	科目	時間	訓練記録	料 金	定員	開催場所
3月14日	MT1	9時～12時	なし	¥11,000	30名	名古屋市工業研究所
	MT2	13時～16時	なし		30名	
	PT1	9時～12時	なし		30名	
	PT2	13時～16時	なし		30名	
	UT1	9時～12時	なし		30名	
	UT2	13時～16時	なし		30名	

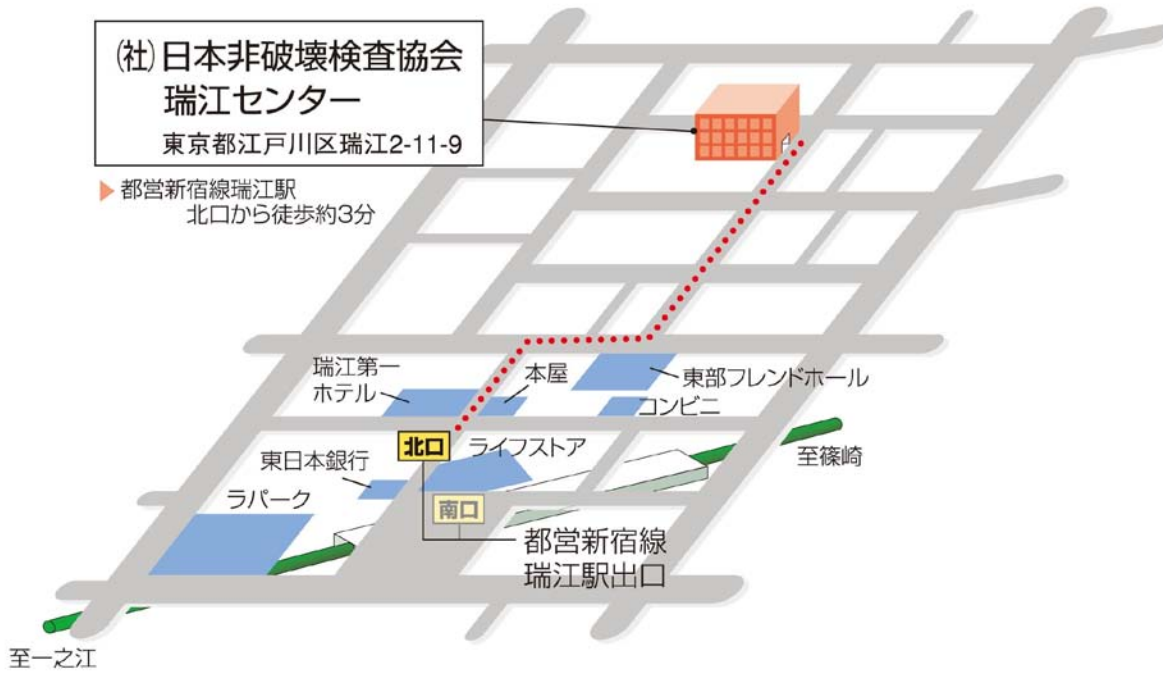
受講料、受講案内の詳細については、中部支部へ直接お問合せください。

また、中部支部 web(<http://www.jsndi-chubu.jp/>)を参照してください。

10. 講習会会場案内 (受講券発送時に案内図を同封いたします)

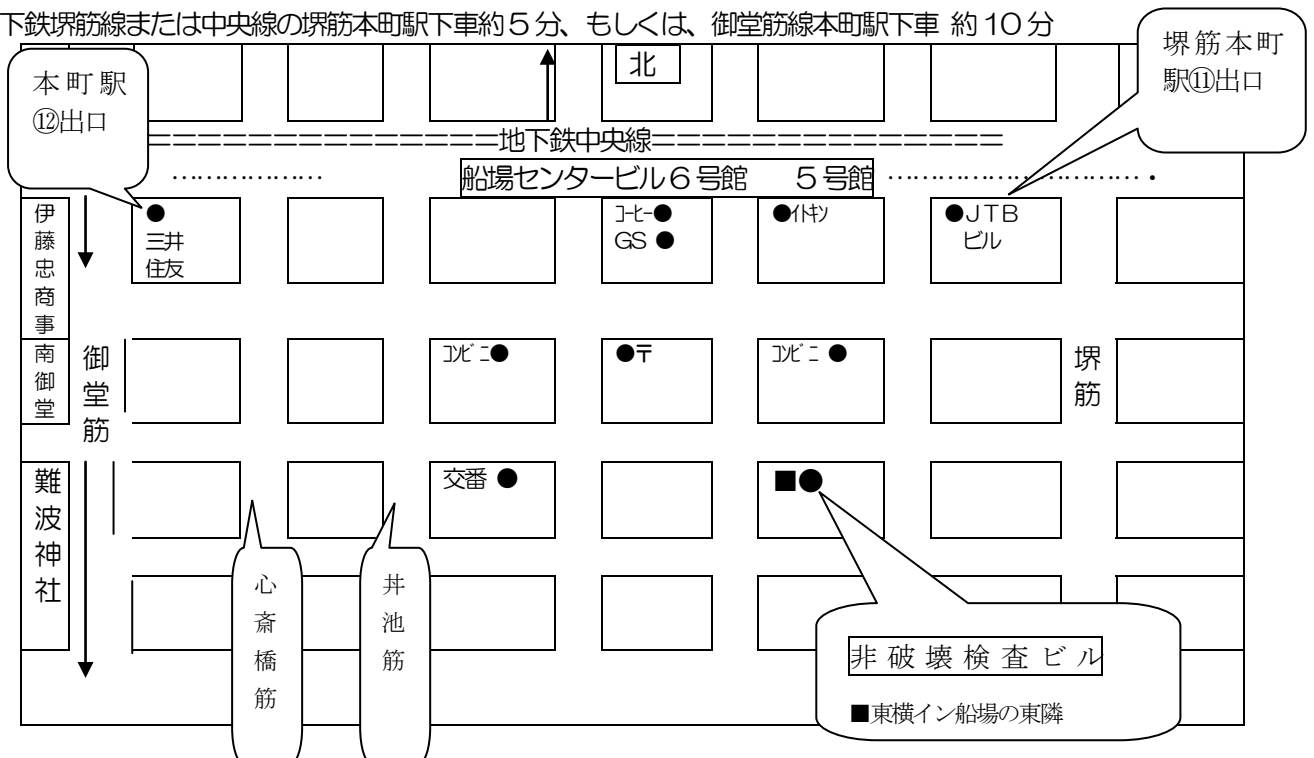
地区	会場	
東京	社団法人 日本非破壊検査協会 瑞江センター 〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9	東京地区開催全ての講習会
大阪	財団法人 電子科学研究所 会議室 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-3-6 非破壊検査ビル	大阪地区開催全ての講習会

***会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時に必ずご確認ください。**



(財)電子科学研究所 案内図

地下鉄堺筋線または中央線の堺筋本町駅下車約5分、もしくは、御堂筋線本町駅下車 約10分



11. 講習会書籍一覧

放射線検査関連書籍

使用書籍：○

参考書籍：△

(消費税込価格) 2012春

書籍名		年版	書籍略称	書籍コード	定価	会 員 格	レベル1	レベル2
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500		
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		△
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600		
	レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600		
放射線関係	放射線透過試験Ⅰ	2006	放 Ⅰ	311116	2,300	2,100	○	○
	放射線透過試験Ⅱ	2006	放 Ⅱ	311120	3,500	3,200		○
	放射線透過試験Ⅲ	2002	放 Ⅲ	311130	4,400	4,000		
	放射線透過試験問題集	1999	放 問	311206	4,900	4,500	○	○
	放射線透過試験実験法	1987	放 実	311308	1,700	1,600	△	○
	放射線透過試験技術に関する写真及び解説	2006	放 写	310446	4,400	4,000	○	○
	中性子ラジオグラフィ写真集	1995	中ラ写	311466	4,600	4,200	△	△
	放射線の安全取扱い	2009	放 安	311317	3,200	2,900	△	△
	鋳鋼品放射線透過写真等級分類ゲージ	—	鋳放ゲ	120581	1,250	1,150	○	○
	鋼溶接部放射線透過写真きずの像の分類ゲージ	—	鋼放ゲ	123104	800	750	○	○
アルミニウム溶接部放射線・きずの像の分類ゲージ	—	ア放ゲ	123105	800	750	○	○	
他	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△

超音波検査関連書籍

書籍名		年版	書籍略称	書籍コード	定価	会 員 格	レベル1	レベル2	UM厚さ
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600			
	レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600			
超音波関係	超音波探傷試験Ⅰ	1999	超 Ⅰ	321111	2,800	2,600	○	△	
	超音波探傷試験Ⅱ	2000	超 Ⅱ	321121	4,600	4,200		○	
	超音波探傷試験Ⅲ	2001	超 Ⅲ	321130	5,800	5,300			
	超音波厚さ測定Ⅰ	2009	超厚Ⅰ	322116	3,000	2,700	○	△	○
	超音波探傷試験問題集	2002	超 問	321205	5,600	5,100	○	○	○
	超音波探傷試験実技参考書「デジタル超音波探傷器」編	2009	超実デ	321308	5,500	5,000	○	○	
	各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験	2004	各 超	321570	5,800	5,300		○	
他	鉄骨溶接部の超音波探傷試験実施マニュアル	1999	鉄超マ	321589	4,000	3,600		△	
	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△	

磁粉検査関連書籍

書籍名		年版	書籍略称	書籍コード	定価	会 員 格	レベル1	レベル2
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500		
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		○
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600		
	レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600		
磁粉関係	磁粉探傷試験Ⅰ	2007	磁 Ⅰ	331118	2,000	1,800	○	○
	磁粉探傷試験Ⅱ	2007	磁 Ⅱ	331128	3,400	3,100		○
	磁粉探傷試験Ⅲ	2009	磁 Ⅲ	331138	3,600	3,300		
	磁粉探傷試験問題集	2009	磁 問	331203	4,000	3,600	○	○
	磁粉探傷試験実技参考書	2001	磁 実	331310	2,800	2,600	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,700	2,500	△	○
他	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△

浸透検査関連書籍

使用書籍：○ 参考書籍：△ (消費税込価格) 2012 春

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル1	レベル2
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500		
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		○
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600		
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600		
浸透関係	浸透探傷試験 I	2004	浸 I	332116	2,800	2,600	○	○
	浸透探傷試験 II	2005	浸 II	332128	3,600	3,300		○
	浸透探傷試験 III	2008	浸 III	332136	2,100	1,900		
	浸透探傷試験問題集	2010	浸 問	332202	5,300	4,800	○	○
	浸透探傷試験実技参考書	2001	浸 実	332310	2,100	1,900	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,700	2,500	△	○
他	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△

渦流（電磁誘導）検査関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル1	レベル2
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500		
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		△
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600		
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600		
渦流関係	渦電流探傷試験 I	2008	渦 I	333116	2,800	2,600	○	△
	渦流探傷試験 II	1995	渦 II	333126	2,700	2,500		○
	渦流探傷試験 III	2003	渦 III	333131	6,200	5,600		
	渦流探傷試験問題集	2002	渦 問	333202	3,900	3,600	○	○
	渦電流探傷試験実技参考書	2008	渦 実	333310	3,500	3,200	○	○
他	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△

ひずみ測定関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル1	レベル2
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	4,900	4,500		
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,400	1,300		△
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,800	2,600		
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2006	L3問	300235	1,700	1,600		
ひずみ関係	ひずみ測定 I	2007	ひ I	341110	2,000	1,800	○	○
	ひずみ測定 II	2007	ひ II	341128	2,800	2,600		○
	ひずみ測定 III	2009	ひ III	341138	2,800	2,600		
	ひずみ測定問題集	2009	ひ 問	341204	4,700	4,300	○	○
他	JIS Z 2305 非破壊試験－技術者の資格及び認証	2001	JIS	623051	2,100	1,900	△	△
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2011	2011	非 ハ	600018	8,820	8,000		△

【梱包発送費】 書籍・分類ゲージの数量により下記ようになります (梱包発送費内に消費税は含まれております)

- ①書籍・JIS 1冊の場合 350円
2冊以上の場合 (冊数×100円) + 300円
同一書籍30冊以上の場合 当該書籍のみ無料
- ②分類ゲージ 1～4枚・・・130円/ 5～13枚・・・190円/14～29枚・・・270円/
30～49枚・・・390円/50枚～・・・700円

【割引】 同一書籍10冊以上まとめてご注文の場合 定価又は会員価格×冊数×0.9
同一書籍30冊以上まとめてご注文の場合 定価×冊数×0.8
*分類ゲージは枚数による割引はありません

1 2. 書籍申込要領・書籍注文書

書籍申込要領

注文書について

- ① 所定の注文書またはWEBシステムを用いてお申込み下さい。
- ② 所定の注文書一枚に書ききれない場合、注文書を複写し一つにまとめてお申込み下さい。
その際、発注者・納品先は一枚目のみを記入し、枚数記入欄に忘れずに枚数を記入して下さい。

書籍購入の流れ

- ① 注文書を講習会申込書と同封の上、JSNDI業務課講習会係宛に郵送
- ② 講習会受講券発送後、書籍発送
- ③ 書籍の到着（宅配便）
- ④ 請求書、納品書、振込用紙の到着（郵便）
- ⑤ 書籍と請求内容を確認後、送付された振込用紙により送金

講習会受講料と書籍代金の請求書
は別送です

注文書記載要領

- ① 申込日、注文書枚数、受講部門略称、受講地区、会員番号の記入
 - ・ 受講部門略称および受講地区は「講習会開催要領」を参照の上、ご記入下さい。
但し、お申込みになられた書籍が複数の受講部門にまたがっている場合、
受講部門略称および受講地区は一番早い日程のものをご記入下さい。
 - ・ 会員番号は、「会員証」に記載されている9桁の番号です。
また機関誌「非破壊検査」が送付されたときの宛名ラベルにも記載されています。
「非破壊検査技術者技量認定証明書」又は「非破壊試験技術者資格証明書」に記載されている個人登録番号又は
個人コードとは異なりますのでご注意ください。
- ② 発注者、納品先の記入
 - ・ 発注者、納品先が会社名の場合、担当者名を必ずご記入下さい。
 - ・ 納品先が発注者と同じ場合、納品先は記入不要。
 - ・ 納品先が発注者と異なる場合、請求書は発注者に送付されます。
- ③ 書籍略称、書籍コードは書籍一覧を参照の上、記入
- ④ 注文書下部、合計数量等の二重線の枠内には記入しないで下さい。

送付について

- ・ **講習会（JSNDI主催）受講者は書籍が会員価格となりますので、必ず講習会申込書と書籍注文書を同封して、業務課講習会係宛にお送り下さい。**
同封していない場合、割引とならないこともあり、また書籍の到着が講習会に間に合わないこともありますので、ご注意ください。（ただし、会員価格の適用は講習会開催期間中のみとなりますのでご了承下さい。）
- ・ **書籍の発送は申込順ではなく、講習会の日程に合わせて発送しておりますので、複数の方の注文書を同時に郵送しても希望受講部門によって書籍の到着が異なることがありますので、ご注意ください。**

注意：返本については落丁、不良品のみとさせていただきますので、書籍略称、コード等の記入間違いには充分にご注意下さい。また返本、交換は書籍到着後1週間以内にご連絡頂いた場合に限りです。

書籍係より

当協会ではここに掲載している書籍以外にも非破壊検査関連図書をご用意しております。
当協会発行の関連図書一覧をご希望の方は当協会ホームページをご参照して下さい。

13. 講習会申込書 記載注意事項

講習会受講申込書は各部門ごとに一人一枚でお願いします。
受講部門が2部門以上、または複数名の方は申込書をコピーして記入ご使用下さい。申込書は、全て楷書にてハッキリと記入して下さい。

なお、記入もれがありますと処理ができないこともありますので注意して下さい。

1. 受講部門 (略称)

受講部門の名称を次の略称で記入して下さい。

受講部門名	レベル	略 称
放射線透過試験	1	RT-10
放射線透過試験	2	RT-20
超音波探傷試験	1	UT-10
超音波厚さ測定	1	UM-10
超音波探傷試験	2	UT-20
磁粉探傷試験	1	MT-10
磁粉探傷試験	2	MT-20
浸透探傷試験	1	PT-10
浸透探傷試験	2	PT-20
渦流探傷試験	1	ET-10
渦流探傷試験	2	ET-20
ひずみ測定	1	SM-10
ひずみ測定	2	SM-20

2. 受講地区

受講地区のコードを次の番号で記入して下さい。

東京 13 大阪 27

3. 業種コード

01検査 02鉄鋼 03造船 04鉄構ファブリケータ 05電力
06ガス 07石油化学 08プラントエンジニア 09鉄道
10装置メーカー 11金属 12建築 13学校 14官庁
15中立機関 20その他

4. 個人コード

資格証明書に記載されているコード番号を記入して下さい。

5. 会員有無

非会員・会員のどちらかを○で囲んで下さい。

会員の方は、会員番号を記入して、会員証のコピーを受講申込書の裏面に添付して下さい。

- ・申し込みの際に、会員証のコピーを添付していない場合は、会員であっても非会員扱いとなりますので充分ご注意ください。
- ・会員番号は、毎月発行されている当協会機関誌「非破壊検査」が送付されたときの宛名ラベルに記載された9桁の番号です。「非破壊検査技術者技量認定証明書」または「非破壊試験技術者資格証明書」に記載された個人登録番号とは異なりますので、ご注意下さい。

・会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております。（会員証に氏名が記載されている本人。）

6. 実習希望日

実習日の選択がある場合には、実習希望日を記入して下さい。

但し、先着順ですので申込みが遅い場合はご希望にそえかねますので、早めにお申し込み下さい。

7. 受講者氏名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。

8. 性別

該当する番号を○で囲んで下さい。

9. 生年月日

西暦にて、生年月日を記入して下さい。

一桁の場合でも0を入れて下さい。

10. 勤務先名称・事業所・工場名・所属部課名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。

カタカナの勤務先名称の場合もフリガナを記入して下さい。

なお、会社形態は必ず次のように記入して下さい。

株式会社→(株) 有限会社→(有)

合名会社→(名) 合資会社→(資)

財団法人→(財) 社団法人→(社)

学校法人→(学)

11. 連絡先指定

該当する番号を○で囲んで下さい。

受講券をお送りする連絡先となります。

郵便物が確実に届く場所を指定して下さい。

12. 連絡担当者又は本人氏名

申込書に関するこちらの連絡内容を処理していただける方の氏名を記入して下さい。・所属部課・Tel・Faxを必ず記入して下さい。

13. 連絡先名称・事業所・工場名・所属部課名

勤務されている所在地を記入して下さい。

なお、事業所・工場名、所属部署名も必ず記入して下さい。

14. 連絡先住所

連絡先所在地の住所を記入して下さい。

15. 受講者自宅住所

受講者自宅住所の住所を記入して下さい。

電話番号は日中にご連絡が取れる番号でお願いします。

☆講習会開催に際しまして、受講希望者が10名以下の場合はやむを得ず中止することもありますので御了承下さい。

★電話、FAXでの予約受付はしておりませんので、必ず申込書を郵送して頂くかWEBシステム上からお申し込み下さい。到着順に受けさせていただきます。

JIS Z 2305 非破壊試験技術講習会 申込書

記入例

(2011年10月～2012年1月)

申込年月日：平成23年10月 1日

No. この欄は記入しないで下さい。

1. 受講部門コード	U	T	-	2	0	2. 受講地区コード	1	3							
3. 業種コード	0	1	4. 個人コード (お持ちの方のみご記入下さい。)			P	9	8	7	6	5	4	3	2	
5. 会員有無	(1) 非会員・(2) 会員 (いずれかを○で囲む)					会員番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6. 実習希望日	第1希望 第2組		第2希望 第1組			第3希望 第 組		第4希望 第 組							
7. フリガナ 受講者氏名	姓		名			8. 性別	9. 生年月日								
	ヒハカイ		タロウ			(1) 男	西暦			月		日			
	非破壊		太郎			2 女	1	9	8	0	0	3	2	1	
10. フリガナ 勤務先名称	ニホンヒハカイインスパートキョウカイ (社) 日本非破壊インスパート協会														
事業所・工場名 所属部課名	秋葉原事務所 検査部														

以下11～15の欄は受講票、訓練実施記録等の発送先の住所です。

11. 連絡先指定 (いずれかを○で囲む)	12. 連絡先担当者又は本人 フリガナ	姓	名
1 自宅住所	氏 名	ヒハカイ	ハナコ
(2) 連絡先担当者又は本人勤務先住所		非破壊	花子
13. フリガナ 連絡先名称	ニホンヒハカイインスパートキョウカイ (社) 日本非破壊インスパート協会		
事業所・工場名 所属部課名	秋葉原事務所 総務課		

14. 勤務先所在地	郵便番号	電話番号	FAX
	101-0026	00-0000-0000	00-0000-0000
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)		
	東京 都道府県 千代田区神田佐久間河岸67 MBR99 4F		
15. 受講者自宅住所	郵便番号	電話番号(携帯電話可)	FAX
	132-0011	00-0000-0000	00-0000-0000
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)		
	東京 都道府県 江戸川区瑞江2-11-9		

注：受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できませんので受講申込の際には、充分ご注意ください。
また、申込受領後、各種講習会開催日の2週間前に受講票・受講料振込用紙を発送します。

JIS Z 2305 非破壊試験技術講習会 申込書

(2011年10月～2012年1月)

申込年月日：平成 年 月 日

No. _____

1. 受講部門コード			—			2. 受講地区コード		
3. 業種コード			4. 個人コード (お持ちの方のみご記入下さい。)			P		
5. 会員有無	(1) 非会員・(2) 会員 (いずれかを○で囲む)				会員番号			
6. 実習希望日	第1希望 第組	第2希望 第組	第3希望 第組	第4希望 第組				
7. フリガナ 受講者氏名	姓		名		8. 性別	9. 生年月日		
						1 男	西暦	月
					2 女			
10. フリガナ 勤務先名称								
事業所・工場名 所属部課名								

以下 11～15 の欄は受講票、訓練実施記録等の発送先の住所です。

11. 連絡先指定 (いずれかを○で囲む)	12. 連絡先担当者又は本人	姓	名
1 自宅住所	フリガナ		
2 連絡先担当者又は本人勤務先住所	氏 名		
13. フリガナ 連絡先名称			
事業所・工場名 所属部課名			

以下の 14、15 の欄もすべてご記入下さい。

14. 勤務先所在地	郵便番号	電話番号	FAX
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 番地 号気付 (ビル名など)		
	都道		
	府県		
15. 受講者自宅住所	郵便番号	電話番号(携帯電話可)	FAX
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 番地 号気付 (ビル名など)		
	都道		
	府県		

注：受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できませんので受講申込の際には、充分ご注意ください。